

● 教育

■ 北見工業大学

昭和35年(1960)東急電鉄会長五島慶太氏から一億円の巨額の寄付を受け、国立工業短期大学に機械学部・応用化学部の2学部で開校し、昭和41年(1966)に4年生大学に昇格しました。

現在のキャンパスは19万㎡、東京ドーム4倍の敷地内に工学部・大学院生約2,000名(平成25年5月次)が研究に励んでいます。

北見工業大学は市民から工大生と気軽に呼ばれ、海外留学生の受入れや交換留学も積極的に行われており、それを支えているのが市民支援組織KITげんき会です。

北見工大生は、1年次に機械・社会環境系・情報電気エレクトロニクス系・バイオ環境マテリアル系に所属し、2年次に6学科を選択、3年次に各学科2コースを選択し、全学科からマネジメント工学コースを選択し研究した工大生は、北見を第二の故郷として全国で活躍しています。



▲キャンパス内にある五島慶太像



▲北見工業大学敷地

■ 日本赤十字北海道看護大学

平成11年(1999)日本赤十字看護大学の2校目として北見市曙町に日本赤十字北海道看護大学が開校し、卒業生は北見日赤や、全国の医療現場で活躍しています。

看護大誘致には、北見市をはじめ北見日赤の安定した地域医療への多大なる思いが開校へ導いています。

沿革は平成15年(2003)大学院開設、平成20年(2008)大学院看護学研究科助産学専攻及び助産師学校の指定を受けています。

平成25年5月時の学生数は、看護学部生426名・大学院生25名が学ぶ、北見市・オホーツク圏の地域医療最先端の大学です。



▲日本赤十字北海道看護大学

■ 北見市内小・中・高・専門学校数

平成25年(2013)4月の学校数

地区	小学校	中学校	高校	専修・専門学校
北見	18	10	5	6
留辺蘂	3	3	1	0
端野	1	1	1	0
常呂	4	1	1	0
合計	26	15	8	6

* 専修・専門学校には、北海道高等技術専門学校、特別支援学校を含む

* 北見市ホームページ トップ画面には北見市内にある 小・中・高・大学(廃校含む)校歌と北見の歌を聞くことができるパナーがある。